

写真: ©森清 / 講談社



〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会 特別篇

それぞれの言葉で語り合おう

大江健三郎の

文学をめぐって

2023年12月16日(土)

東京大学駒場キャンパス
1号館2階159教室

14:00-15:40



無料・事前申込制 (定員あり。QRコードまたはURLからご登録ください)

<https://forms.gle/vkY2tVF62kVL9pYy5>

本イベントの同時配信は行いませんが、飯田橋文学会ウェブサイトにて後日動画を公開予定です

飯田橋文学会
Iidabashi Literary Club

ヒューマニティーズセンター
Humanities Center

University of Tokyo
Center for Philosophy

【登壇者】

市川沙央 (作家) ※オンライン登壇

著書『ハンチバック』(文藝春秋、二〇二二) 第169回芥川賞受賞

岩川ありさ (現代日本文学、フェミニズム / 早稲田大学准教授)

著書『物語とトラウマ——クイア・フェミニズム批評の可能性』(青土社、二〇二二)

菊間晴子 (近現代日本文学、表象文化論 / 東京大学助教)

著書『犠牲の森で——大江健三郎の死生観』

(東京大学出版会、二〇二二) 第12回東京大学南原繁記念出版賞受賞